

- 放棄せよ、不成績の計画を。
- 修正せよ、改善の余地ある活動を。
- 拡大せよ、発展の見込みある計画を。
- 採用せよ、過去に怠った活動部門を。
- 創始せよ、新規部門の活動を。

以上を四大奉仕部門のすべてにあてはめて
検討実行すれば貴クラブの活動には

「地固めと持続性」

がもたらされるであろう。

私のこのメッセージを結ぶに当り本年は特に
次の4つのプログラムの推進に一段の努力を
払われることをお願いしたい。

- (1) 地区対地区のプログラム——このプログラムは地区並びにクラブ・レベルで、あるいはロータリアン個人同志で国際理解を一層深めるために計画されたものであるが、実施後2年の歳月と経験を経てさらに改善されたものとなった。
- (2) 世界社会奉仕活動——地区対地区のプログラムの活動の一環として或はそれとは別個にこの活動が行われる。これは1地区1クラブだけの力では達成困難な社会奉仕活動を外国のクラブの協力を得て行なうものである。
- (3) ロータリー財団活動の拡大——従来のロータリー財団奨学金 (fellowship) の外に今回専門的訓練のための補助金、研究グループの交換、その他新計画が提案された場合、管理委員会はこれを検討することを約する案が新に追加された。これらはいずれも国際間の理解、友情の推進に資せんとするものである。
- (4) いろいろの種類 of 青少年の交換プログラム——青少年の間に国際的感覚を高め、友情を深めて、将来におけるこれらの活動に備えしめんとするものである。
人類の史上今日ほど国際間の理解と協調の

必要性が痛感される時はない。したがって私は、本年は特に上に述べた4つのプログラムの推進に各位の心からのご協力をお願いする次第です。かくてわれわれの常時となえる「国際奉仕」は空念仏でないことを世界に示そうではありませんか。

——1965～66年度

国際ロータリー会長

C. P. H. テーンストラ——

President of R.I. for 1965—66

Dr. C. P. H. Teenstra

上記の1965—66年度の国際ロータリー会長
ティーンストラさんはオランダ Hilversum
クラブ (会員75人) の会員でロータリー歴24
年。同氏は1956—57年度にR. I. 第2副会長
をつとめ、またR. I. 理事および地区ガバナー
の経歴を持っておられます。

ティーンストラさんは医博でオランダ
Larenという町にある脊柱骨及び結核患者の
ための Juliana-Oord サナトリウム of 理事で
1964年6月7日～11日のトロント国際大会に
おいて正式に会長に選挙されました。

就任のごあいさつ

Greetings



親愛なるわが 第365区の会長並びに幹事の
皆様。このガバナー月信第1号により私の最初
の手紙を皆様にお届けする機会を得ました

ことを大変うれしく且つ光栄に存じます。実はこの手紙は7月1日付月信第1号に載せる関係上、私の渡米前に大部分したためることにしました。従いまして Lake Placid の国際協議会（5月20日～28日）及び Atlantic City で開かれた国際大会（5月30日～6月3日）における諸事項については第1面にティーンストラ会長の申された「新年度の課題」の要旨のみをお伝えいたし他は後日改めてご報告することにいたします。

願いますれば昨年の秋 Governor Nominee のご推挙を受けるに当りまして、豊富な経験と練達な手腕を備えられた数多くの先輩 Governors の後を継いで浅学非才、しかもロータリー経験も未だ十分とは申せぬ私ごときが果してこの大任を全うし得るや内心大いに迷ったのでありますが、しかしながらロータリー精神に徹し、会長及び幹事の皆様並びに先輩各位のご支援とご協力を得て非才にむち打ち努力するならば、任務の遂行も不可能にあらずとの堅い決意の下にガバナーの大任をお受けしたのであります。

これからの1年は、会長、幹事の各位はもとより、地区内各クラブの全ロータリアンと堅く手を結び、一体となってロータリーの信条を守り、友愛と奉仕の理想実現に一路直進したいと思えます。何とぞ皆様の惜しみなきご支援とご協力並びに深いご理解をお与え下さいますよう切にお願いいたします。

いずれ各クラブご訪問の際には皆様に親しくお目にかかりご挨拶申し上げますが、とり急ぎ就任に際し一言申し上げます。

なお、このガバナー月信は国際ロータリー本部から報告される新計画や新方針を各ロータリークラブに伝達し、これにより世界のロータリークラブの進展状況を知り、当地区の各クラブも如何に進むべきかの示さをも獲得

する唯一の媒体でもありますので、印刷物ではありますが私の直筆信同様にお受けとり下され、毎月必ずお読み下さるようお願いいたします。

堀内前ガバナーへの感謝

Tribute to Immediate Past Governor

堀内前ガバナーは、かずかずの公職をも持たれ文字通り公私まことに多端な中を東奔西走、第365区の68のクラブ全部をすでに3月末には歴訪を終わられたというご熱心ぶりで、その長年のロータリー経験とひたむきな奉仕の精神を持って各クラブを指導せられて幾多の有効適切なアドバイスを与えられ、第365区のロータリークラブ発展に大きな貢献をいたされた献身のご努力に対し深い感銘を覚え、心からのお礼と感謝の言葉を申し上げます。

このような有能な前ガバナーをお送りすることは、まことに惜別の情に堪えません。

昨年度も引続きペテングル R. I. 前会長により推進される事になりました地区対地区交換計画は当地区に於ては、堀内前ガバナーのご熱心なるご努力により、相手地区であるイタリーの190区との間に日伊学生交換計画が遂に実現の運びに到りましたこと並びに、御在任中に松原、枚岡の2つの新クラブが誕生するに到ったことも、同氏功績の一端としてたたえたいのであります。

今後ともますますご健勝で、ロータリー発展のためにさらにご協力をお願いするとともに、直前ガバナーとして何かとご指導下さいますようお願いいたします。

新年度の主要役員

R. I. 会長	C. P. H. Teenstra (Holland)
R. I. 事務総長	George R. Means (U. S. A.)